

中学1年 社会 授業用プリント ④ 世界の諸地域② オセアニア州

1 全体像	2・3 自然と気候	4・5 先住民と歴史	6・7 農牧業と鉱業	8 貿易	9・10 多文化社会と人	11・12 ツバルとまとめ
-------	-----------	------------	------------	------	--------------	---------------

1 この単元の全体像 — オセアニア州は、どこと結び付いている？

このページのゴール オセアニア州の場所と主な国、この単元で学ぶ5つのことを、ざっと言える

オセアニア州は、オーストラリア大陸と、太平洋の島々からなります。日本が輸入する石炭の約3分の2、鉄鉱石の約半分は、オーストラリアから来ます（7ページ）。オーストラリアから日本へ来る旅行者も増えています（10ページ）。一方で、太平洋の島国ツバルは、国土が水につかるおそれがあります（11ページ）。



地図：Natural Earth

国	ようす
オーストラリア	首都はキャンベラ。1つの大陸が1つの国で、面積は日本の約20倍
ニュージーランド	オーストラリアの南東にある、2つの大きな島からなる国
パプアニューギニア	ニューギニア島の東半分の国。赤道の近く
フィジー・ツバル	どちらも太平洋の島国（ツバルは11ページ）

注意 × オーストラリアの首都はシドニー → 首都はキャンベラ（シドニーは人口の多い大都市）

合言葉 「オーストラリアの首都はキャンベラ」

① 自然と気候 大陸と島々 くわしくは2・3ページ

② 先住民と歴史 もともと住む人々 くわしくは4・5ページ

乾いた大陸と、火山やサンゴ礁の島々。人はどこに多く住む？	アボリジニとマオリ。イギリスの植民地だった歴史
------------------------------	-------------------------

③ 農牧業と鉱業 大地の恵み くわしくは 6・7 ページ ④ 貿易 相手の変化 くわしくは 8 ページ

羊・牛・小麦と、鉄鉱石・石炭。日本ともつながっている	オーストラリアの貿易相手は、昔と今でどう変わった？
----------------------------	---------------------------

⑤ 多文化社会と人の結び付き いろいろな人々 くわしくは 9・10ページ

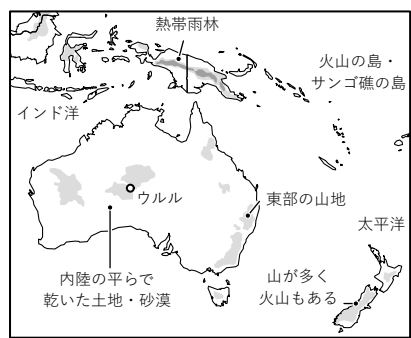
いろいろな国の人がくらす社会と、アジア・日本との人々の行き来

この単元の問い オセアニア州は、どの地域との結び付きを強めている？ それはなぜ？（答えは12ページ。11ページは、島国ツバルの話です）

この単元の解説記事（図と例題つき）：[かてきょノート \(katekyo-note.com\)](https://katekyo-note.com/%e3%80%90%e4%b8%ad1%7e7a4%be%e4%bc%9a%E3%83bb%E5%9c%B0%E7%90%86%E3%80%91%E4%B8%96%E7%95%8C%E3%81%ae%E8%ab%b8%E5%9c%B0%E5%9F%9E) <https://katekyo-note.com/%e3%80%90%e4%b8%ad1%7e7a4%be%e4%bc%9a%E3%83bb%E5%9c%B0%E7%90%86%E3%80%91%E4%B8%96%E7%95%8C%E3%81%ae%E8%ab%b8%E5%9c%B0%E5%9F%9E>

2 オーストラリアは、なぜ「乾燥大陸」とよばれる？

このページのゴール オーストラリア大陸の地形と、太平洋の島々の2つの成り立ちを言える



■ 標高500m以上の土地 ■ 標高1500m以上の土地
地図：Natural Earth。標高：NOAA ETOP01

名前	場所と特徴
<u>オーストラリア大陸</u>	六大陸でいちばん小さい。内陸は平らで乾いた土地や砂漠、東部に山地が南北に連なる
ニュージーランド	山が多く、火山もある2つの島の国
ニューギニア島	熱帯雨林が広がる。東半分がパプアニューギニア
太平洋の島々	火山の島と、サンゴ礁の島がある（下の表）

地図の●のウルルは、内陸にある先住民の聖地です（4ページ）。

乾燥大陸：オーストラリア大陸は、大部分が雨の少ない乾燥帯なので、「乾燥大陸」とよばれる

サンゴ礁：あたたかく浅い海で、サンゴなどの生き物の骨やからが積み重なってできた地形。標高の低い島ができる



乾いた土地が広がる内陸（オーストラリア）



サンゴ礁でできた低い島（キリバス）

写真：Gazjo（パブリックドメイン）、Edvac（CC BY-SA 3.0）。Wikimedia Commons より、白黒にして切り取った

火山の島とサンゴ礁の島のちがい

島	できかた	高さ	オセアニア州では
火山の島	火山の噴火でできる	山がある	ニュージーランドにも火山がある
サンゴ礁の島	サンゴ礁でできる	低く平ら	ツバル（11ページ）

太平洋の島々は、ミクロネシア（赤道より北の小さな島々）・メラネシア（ニューギニア島からフィジーのあたり）・ポリネシア（ニュージーランドをふくむ、東の広い海に散らばる島々）の3つの地域に分けられます。

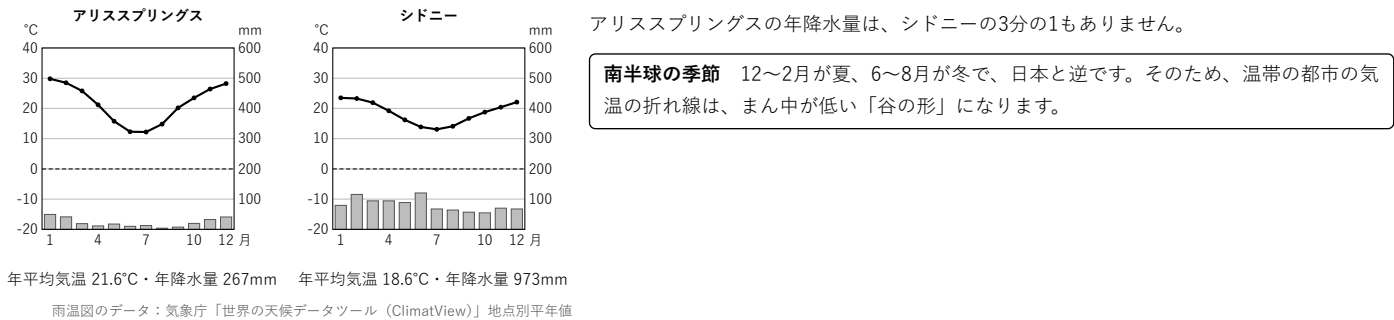
注意 ×オーストラリア大陸は、全体が雨の多い熱帯 → 大部分が乾燥帯（乾燥大陸） ×ニューギニア島の全体がパプアニューギニア → 東半分だけ ×サンゴ礁の島は、火山の噴火でできる → サンゴなどの生き物の骨やからが積み重なってできる

合言葉 「大陸は乾燥、島は火山とサンゴ礁」

3 オーストラリアの人々は、なぜ海ぞいに多く住んでいる？

このページのゴール オセアニア州の気候の並びと、オーストラリアの人口が南東部・南西部の海ぞいに集まるわけを言える

オーストラリアでは、サンタクロースがサーフィンでやってくる絵がえがかれることがあります。南半球にあるので、12月のクリスマスは夏だからです。



オーストラリアの人口は、雨が多く過ごしやすい南東部・南西部の海ぞいの都市に集まる（人口の約3分の2が州都にくらす）。首都はキャンベラ

注意 × オーストラリアの人口は、広い内陸に多い → 雨が多く過ごしやすい南東部・南西部の海ぞいの都市に多い × オーストラリアでは、12～2月が冬 → 南半球なので12～2月は夏

合言葉 「内陸は乾燥、人は海ぞいに住む」

4 オセアニア州に、もともと住んでいたのはどんな人々？

このページのゴール オーストラリアのアボリジニとニュージーランドのマオリの文化と、今の取り組みを言える

先住民：その土地にもともと住んでいた人々

① アボリジニとマオリ

先住民	国	人口にしめる割合	くらしと文化	今
アボリジニ	オーストラリア	約4%	何万年も前から、狩りや採集をしながら、自然とともにくらしてきた。ウルルは聖地	聖地のウルルに登ることが禁止された（9ページ）
マオリ	ニュージーランド	約17%	マオリ語を話す	マオリ語が、1987年に公用語（国が正式に使うことば）の1つになった

人口にしめる割合のくらべ

アボリジニ（オーストラリア）  約4%
マオリ（ニュージーランド）  約17%

棒の長さは割合を表します。マオリのほうが、割合がずっと高いことが分かります。

② 聖地ウルル



アボリジニの聖地ウルル（オーストラリア）
マオリの集会所の彫刻（ニュージーランド）
写真：Dietmar Rabich（CC BY-SA 4.0）、James Shook（CC BY 2.5）。
Wikimedia Commons より、白黒にして切り取った

ウルルは、オーストラリアの内陸にある大きな一枚岩で、アボリジニの聖地です（2ページの地図の●）。1985年に土地が先住民に返され、2019年から登ることが禁止されました（9ページ）。

③ 太平洋の島々の人々

島々にも、それぞれの先住民が、海とともにくらしてきました（2ページの3つの地域）。

④ 北アメリカ州・南アメリカ州とくらべよう

北アメリカ州や南アメリカ州でも、ヨーロッパの国の植民地になり、先住民の土地や文化がうばわれました。オセアニア州でも、同じようなことが起きました（5ページ）。

注意 × アボリジニは、ニュージーランドの先住民 → オーストラリアの先住民（ニュージーランドはマオリ）

合言葉 「オーストラリアはアボリジニ、ニュージーランドはマオリ」

5 オーストラリアの国旗に、なぜイギリスの国旗がえがかれている？

このページのゴール イギリスの植民地になってから白豪主義がとられるまでの流れと、英語・キリスト教のわけを言える

① 歴史の流れ

- ① もともと：先住民がくらしていた（4ページ）
- ② 1788年：囚人などを乗せたイギリスの船団がシドニーに着き、オーストラリアはイギリスの植民地になった。ニュージーランドも、1840年からイギリスの支配が始まった。先住民は土地をうばわれ、人口が大きく減った
- ③ 1850年代：金が見つかり、中国など世界中から人々が集まった
- ④ 1901年：6つの植民地がまとまって、オーストラリア連邦ができた。同じ年に、移民を制限する法律ができた
- ⑤ 1973年：白豪主義をやめた（9ページ）

白豪主義：20世紀の初め（1901年）から1970年代（1973年）まで、オーストラリアがとった、ヨーロッパ系以外の人々（とくにアジアの人々）の移民を制限した政策

② イギリスの植民地だったあとに残ったもの

ことがら	ようす
ことば	<u>英語</u> が話されている（③アフリカ州・④南アメリカ州と同じように、植民地にした国のことばが残っている）
宗教	<u>キリスト教</u> を信仰する人が多い
国旗	オーストラリアとニュージーランドの国旗の左上に、イギリスの国旗がえがかれている

植民地にした国	国の例	今のことば
イギリス	オーストラリア・ニュージーランド	英語
スペイン	南アメリカ州の多くの国	スペイン語
ポルトガル	南アメリカ州のブラジル	ポルトガル語

白豪主義は、1901年から1973年までの約70年間、続けました。

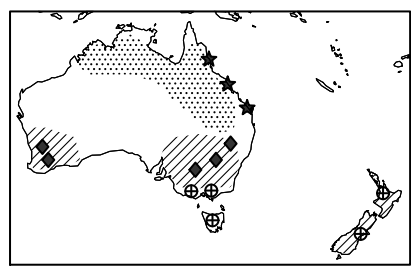
結び付きの変化 このころは、人も貿易もイギリスとの結び付きが強かった。

注意 × 白豪主義は、アジアからの移民を増やすための政策 → ヨーロッパ系以外の人々の移民を制限した政策

合言葉 「イギリスの植民地 → 白豪主義」

6 オーストラリアでは、どこで何がつくられている？

このページのゴール オーストラリアとニュージーランドの主な農牧業と、それが雨の量とどう結び付いているかを言える



羊の放牧

肉牛の放牧

小麦

乾燥した土地（ほとんど使われていない）

さとうきび

酪農

地図：Natural Earth

農牧業	多い地域	わけ・使いみち
羊の放牧	南東部・南西部など	羊毛や肉をとる
肉牛の放牧	北部・東部など	牛肉をとる
小麦	南東部・南西部など	雨が少しある所でつくる
さとうきび	北東部の海ぞい	暑く雨がが多い所でつくる
酪農	南東部など	乳牛を飼い、牛乳や乳製品をつくる

雨の量と農牧業

- ① 雨がとても少ない内陸の乾いた所は、ほとんど農業に使われない（3ページ）
- ② 雨が少ない所でも、広い牧場で羊や肉牛を放牧する
- ③ もう少し雨がある南東部・南西部などでは、小麦をつくり、羊も育てる



羊の放牧
(オーストラリア)



広い小麦畑
(オーストラリア)

写真：State Records NSW (パブリックドメイン)、Calistemon (CC BY-SA 4.0)。Wikimedia Commons より、白黒にして切り取った

ニュージーランドでは、羊の放牧と酪農がさかんで、乳製品が最大の輸出品です。
北アメリカ州・南アメリカ州と同じく、広い土地を使って、大規模に農牧業が行われます。
日本が輸入する牛肉の半分近くが、オーストラリアから来ます（2024年）。

結び付きの変化 牛肉や小麦は、日本などアジアの国々にも多く輸出される。

注意 × オーストラリアでは、内陸の広い土地で小麦がつくられる → 小麦は雨が少しある南東部・南西部など（内陸の乾いた所はほとんど使われない）

合言葉 「雨のある所で、羊・牛・小麦」

7

日本の製鉄所や発電所の燃料は、どこから来ている？

このページのゴール オーストラリアの主な鉱産資源の場所と、露天掘り、日本との結び付きを言える

オーストラリア

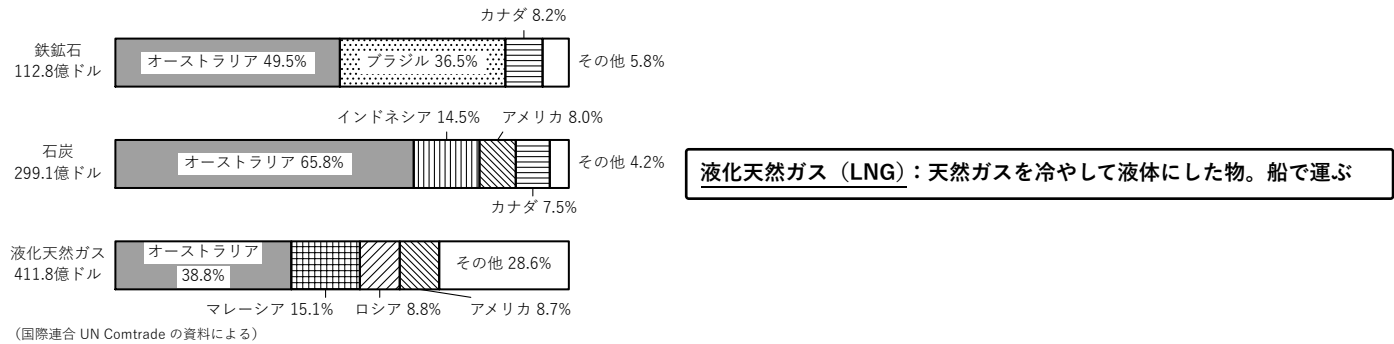
◆ 鉄鉱石
● 石炭
★ 天然ガス

地図：Natural Earth

鉱産資源	場所	日本での使いみち
鉄鉱石	北西部（産出量は世界一）	製鉄所で鉄をつくる原料
石炭	東部	製鉄所や火力発電所の燃料
天然ガス	北西部の沖	火力発電所の燃料や都市ガス

露天掘り：地下にトンネルを掘らず、地面を直接けずって、階段のように掘り下げていく方法。大型の機械で大量に掘る

オーストラリアの石炭の多くは、露天掘りで掘られます。ほかに金・ボーキサイト（アルミニウムの原料）なども産出します。



日本が輸入する石炭の約3分の2、鉄鉱石の約半分、液化天然ガスの約4割が、オーストラリアから来ます。日本の製鉄所や火力発電所で使われます。

鉄鉱石の露天掘りの鉱山
（オーストラリアの北西部）

石炭を船に積みこむ港
（オーストラリアの東部）

注意 × 鉄鉱石は東部、石炭は北西部で多くとれる → **鉄鉱石は北西部、石炭は東部** × 露天掘りは、地下にトンネルを掘って掘り出す方法 → **地面を直接けずって掘り下げる方法**

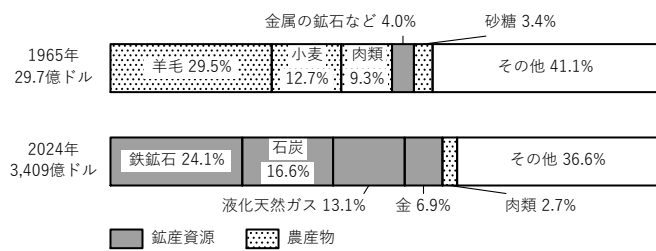
合言葉 「鉄鉱石は北西、石炭は東」

写真：Bahnfreund (CC BY-SA 4.0)、LBM1948 (CC BY-SA 4.0)。Wikimedia Commons より、白黒にして切り取った

結び付きの変化 鉄鉱石や石炭は、日本・中国などアジアの国々へ多く輸出される。

8 オーストラリアの貿易は、なぜイギリスからアジアへ変わった？

このページのゴール オーストラリアの輸出品と貿易相手国が、昔と今でどう変わり、なぜ変わったかを言える



※1965年と2024年は品目の分け方が少しちがう（国際連合 UN Comtrade の資料による）

前は羊毛や小麦などの農産物が中心でしたが、今は鉄鉱石・石炭・液化天然ガスなどの鉱産資源が中心です。

① 貿易相手国の変化

時期	おもな貿易相手国
1960年ごろ	イギリスが中心（ほかに日本・アメリカなど）
今	中国・日本・韓国など、アジアの国々が中心

APEC（アジア太平洋経済協力）：1989年、オーストラリアのよびかけで始まった、アジアと太平洋の国と地域が経済で協力するための会議。第1回の会議はキャンベラ。日本も参加している

② 変わった理由

- ① イギリスが1973年に EC（今の EU。④ヨーロッパ州）に加わり、ヨーロッパの国々との結び付きを強めた
- ② アジアの国々の経済が成長し、鉱産資源や食料をたくさん必要とするようになった
- ③ オーストラリアはアジアに近く、船で運ぶのに便利だった
- ④ 1970年代に白豪主義をやめ、アジアからの移民が増えた（9ページ）

日本は、オーストラリアから鉄鉱石・石炭・液化天然ガス・牛肉などを輸入し、オーストラリアへ自動車などを輸出しています。

結び付きの変化 貿易の相手は、イギリスからアジアへ。

注意 ×今のオーストラリアの貿易の中心は、イギリスとの貿易 → 中国・日本・韓国などアジアの国々との貿易

合言葉 「前はイギリス、今はアジア」

9 オーストラリアは、なぜ「多文化社会」を目指している？

このページのゴール 白豪主義をやめたあとの社会の変わり方と、先住民の権利を取りもどす動きを言える

① 政策の転換

- 1 1973年：白豪主義を完全にやめた
- 2 アジアなどから、多くの移民が来るようになった
- 3 1970年代から：さまざまな民族の人々がくらすようになったので、たがいの文化を認め合う 多文化主義 の政策をとった
- 4 今：多文化社会を目指している

多文化社会：さまざまな民族の人々が、たがいの文化を認め合い、ともにくらす社会



いくつものことばで書かれた道案内（オーストラリア）

写真：Kgbo（CC BY-SA 4.0）。Wikimedia Commons より、白黒にして切り取った

取り組みの例：1978年に、多くのことばで放送する公共放送がつけられました。写真の道しるべには、英語のほかに4つのことばが書かれています。

② 先住民の権利を取りもどす動き

年	できごと
1985年	ウルルの土地が先住民に返された（今は先住民と国がいっしょに管理）
1990年代	先住民の土地の権利が認められるようになった
2008年	首相が、昔の政策で家族から引き離された先住民の人々に、正式に謝罪した
2019年	聖地のウルルに登ることが禁止された

③ 白豪主義のころと、やめたあと

	白豪主義のころ	やめたあと
移民	ヨーロッパの国々の人が中心	アジアなど、さまざまな地域から
社会	ヨーロッパ系以外の人々の移民を制限した	たがいの文化を認め合う社会を目指す

移民の割合を読むときは、全体の数にも気をつけます。全体の数がふえていれば、ある地域の割合が下がっても、人数はふえていることがあります（人数＝全体の数×割合）。

結び付きの変化 移民の出身は、ヨーロッパ中心から、アジアなどへ広がった。

注意 × 白豪主義をやめたあと、オーストラリアはヨーロッパ系の移民だけを受け入れた → **アジアなど、さまざまな地域からの移民を受け入れ、多文化社会を目指している**

合言葉 「白豪主義から、多文化社会へ」

10 オセアニア州とアジア・日本の人の行き来は、どう変わってきた？

このページのゴール アジアからの移民・留学生・観光客がふえていることと、日本との人の行き来がさかんなわけを言える

① アジアとの人の結び付き

人	ようす
移民	アジアからが多くなった（9ページ）
留学生	オーストラリアへの留学生は、中国・インドなどアジアからが多い
観光客	アジアとの行き来が増えている

② 日本との人の行き来

ことがら	ようす
旅行者	オーストラリアから日本への旅行者は、2019年 約62万人 → 2024年 約92万人
スキー	季節が逆なので、日本の冬（オーストラリアの夏休み）に、北海道や長野へスキーに来る人が多い
時差	小さい。シドニーは、日本より1時間進んでいる（時期によっては2時間）
ワーキングホリデー	1980年、日本の最初の相手国がオーストラリア

ワーキングホリデー：若者が、相手の国で働きながら、長く旅行や勉強ができる制度

③ なぜ日本へ来やすい？ 季節と時差のくみあわせ

- ① 北と南で、季節は逆（3ページの南半球）。日本が冬のとき、オーストラリアは夏で、夏休みの時期になる
- ② 北海道や長野には、冬にスキーを楽しめる場所がある
- ③ 経度が近いので時差が小さく、行き来しやすい

④ 日本との季節と時刻をくらべる

日本が…のとき	オーストラリアは…
冬（12～2月）	夏
夏（6～8月）	冬
正午	シドニーは午後1時ごろ（時期によっては午後2時ごろ）

結び付きの変化 人の行き来も、アジア・日本と活発になった。

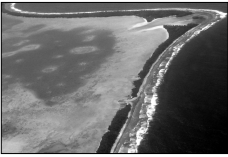
注意 × オーストラリアと日本は、季節も時刻も大きくちがう → 季節は逆だが、時差は小さい

合言葉 「季節は逆、時差は小さい」

11 ツバルは、なぜ国土が水につかるおそれがある？

このページのゴール ツバルの土地のようすと、国土が水につかるおそれの原因が1つではないこと、国をこえた協力を言える

ことがら	ようす
場所	太平洋の島国
島	サンゴ礁などでできた9つの島（2ページ）
面積	約26km ²
人口	約1万人
いちばん高い所	海面から約4.6m



空から見た細長いサンゴ礁の島
（ツバルのフナフティ）



国土を守るための埋め立て工事
（ツバルのフナフティ）

写真：Lily-Anne Homasi / DFAT (CC BY 2.0)、JialiangGao (CC BY-SA 4.0)。Wikimedia Commons より、白黒にした

① 起きていること

- 高潮のとき、海水が入りこむ。地面から海水がわき出る
- 海岸がけずられる
- 畑や井戸に塩水が入る

海面の上昇：地球温暖化で、海の水がふえ、海面が高くなること

② 原因はからみ合っているといわれる

地球温暖化による海面の上昇 + 首都のある島に人が集まり、開発が進む + ごみや生活排水で海がよごれ、島の砂をつくるサンゴや有孔虫が育ちに → 国土が水につかるおそれ
くい

③ 国をこえた協力

国	協力
日本	島の砂をつくる有孔虫（からをもつ小さな生き物）をふやす研究（2009～2014年）や、砂利で浜を守る協力
オーストラリア	2023年に協定を結び、2025年から1年に最大280人のツバルの人が、オーストラリアに移り住めるようになった

わたしたちにできること：地球規模では、温室効果ガスを減らす。身近な地域では、電気を大切に使う、ごみを減らす。

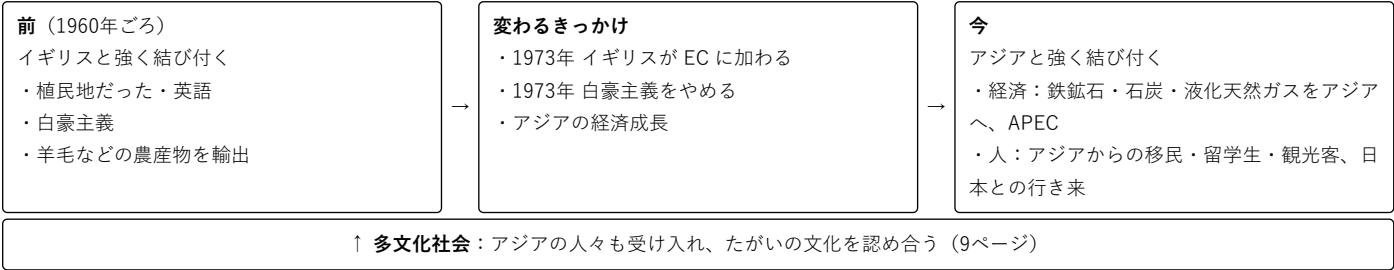
結び付きの変化 国をこえた協力：オーストラリアや日本などが、ツバルと協力している。

注意 × ツバルが水につかるおそれがあるのは、火山の噴火のため → 海面の上昇や、開発・海のよごれなどがからみ合っているため

合言葉 「原因は1つではない」

12 オセアニア州は、どの地域との結び付きを強めている？ それはなぜ？

このページのゴール オーストラリアの結び付きがイギリスからアジアへ変わったことと、そのわけを、多文化社会と結び付けて1つの図にまとめて言える



答え方の手順

- ① 前の相手は？ → イギリス（植民地だった歴史・白豪主義。5ページ）
- ② 変わったきっかけは？ → EC 加盟・白豪主義をやめた・アジアの経済成長（8・9ページ）
- ③ 今の相手と、結び付きの中身は？ → アジア。経済（6～8ページ）と人（9・10ページ）の両方

観点	前（1960年ごろ）	今
貿易の相手	イギリスが中心	中国・日本・韓国などアジアの国々が中心
輸出品	羊毛や小麦などの農産物	鉄鉱石・石炭・液化天然ガスなどの鉱産資源
移民	ヨーロッパの国々の人が中心	アジアなど、さまざまな地域から
社会の方針	白豪主義	多文化社会を目指す

特色	ひとこと	ページ
自然	乾燥大陸と、火山やサンゴ礁の島々	2
気候と人口	内陸は乾燥、人は南東部・南西部の海ぞいに	3
先住民と歴史	アボリジニ・マオリ。イギリスの植民地から白豪主義へ	4・5
農牧業と鉱業	羊・牛・小麦。鉄鉱石は北西、石炭は東	6・7
貿易	前はイギリス、今はアジア	8
多文化社会と人	白豪主義から多文化社会へ。人の行き来も活発に	9・10
ツバル	原因は1つではない。国をこえた協力	11

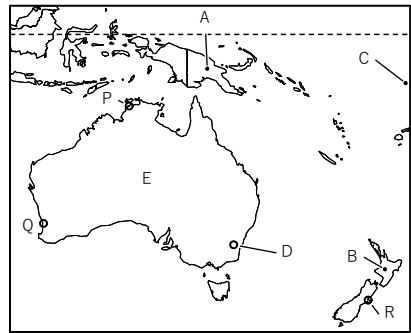
問いの答えの例 オーストラリアは、前はイギリスとの結び付きが強かったが、イギリスの EC 加盟とアジアの経済成長で、貿易の相手がアジアに変わった。白豪主義をやめて多文化社会を目指し、アジアからの移民や観光客も増えて、人の結び付きも強くなった。

注意 × オーストラリアは、今もイギリスとの結び付きがいちばん強い → **今は経済でも人でも、アジアとの結び付きが強くなっている**

確認問題① 国と自然・気候と人口・もともと住む人々

答えと解説は17・18ページ（9枚目の紙）にあります。【 】は、わからないときに読み直すページです。

1 オセアニア州の国と自然について、次の問いに答えなさい。【1・2・11ページ】

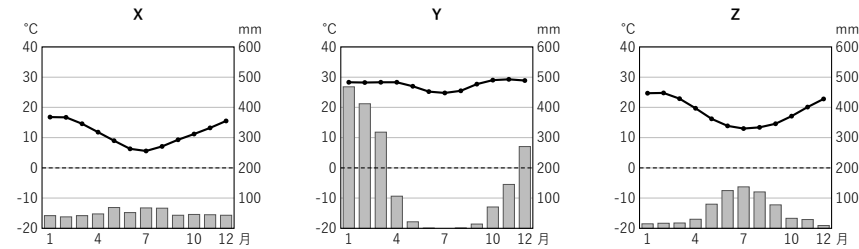


地図：Natural Earth

- (1) Aは、ニューギニア島の東半分にある国です。国名を書きなさい。
- (2) Bは、オーストラリア大陸の南東にある、2つの大きな島からなる国です。国名を書きなさい。
- (3) Cは、国土が水につかるおそれがある、太平洋の島国です。国名を書きなさい。
- (4) Dの●は、オーストラリアの首都です。この都市の名前を書きなさい。
- (5) Eのような雨の少ない地域が大部分をしめるため、オーストラリア大陸は何とよばれますか。
- (6) 太平洋には、火山の島のほかに、あたたかく浅い海の生き物の骨やからが積み重なってできた地形があり、この地形でできた標高の低い島も多くあります。この地形を何といいますか。
- (7) 火山の噴火でできた島について、正しいものを選びなさい。
ア 標高が低く、平らな島が多い イ 山があり、標高の高い所もある ウ 1年中、雪におおわれている
- (8) 太平洋の島々の3つの地域のうち、ニューギニア島からフィジーあたりの島々をふくむ地域を選びなさい。
ア ポリネシア イ ミクロネシア ウ メラネシア

2 オセアニア州の気候と人口について、次の問いに答えなさい。【3ページ】

X～Zは、地図のP～Rの3つの都市の雨温図です。



雨温図のデータ：気象庁「世界の天候データツール（ClimatView）」地点別平年値

- (1) X～Zのうち、1年中気温が24℃以上で高く、6～8月はほとんど雨が降らないのはどれですか。
- (2) X～Zのうち、6～8月に雨が多く、12～2月に雨がとても少ないのはどれですか。
- (3) X～Zのうち、1年を通して雨が少しずつあり、いちばん暑い月でも気温が17℃ほどなのはどれですか。
- (4)～(6) X・Y・Zの都市は、地図のP～Rのどれですか。それぞれ書きなさい。
- (7) Yの都市がある地域の気候帯を何といいますか。
- (8) Zの都市の気候を、「〇〇気候」の形で書きなさい。
- (9) Xの都市の気候を、「〇〇気候」の形で書きなさい。
- (10) オーストラリアでクリスマスのある12月は、何の季節ですか。
ア 夏 イ 春 ウ 秋 エ 冬
- (11) オーストラリアの人口の多くは、南東部・南西部の海ぞいの都市に集まっています。そのわけを、「雨」「すごしやすい」の語を使って書きなさい。

3 オセアニア州にもともと住む人々について、次の問いに答えなさい。【4ページ】

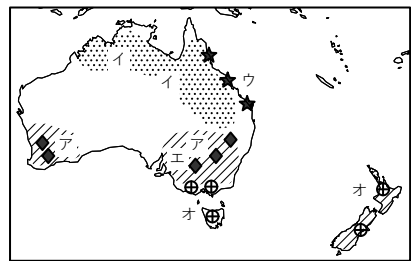
- (1) その土地にもともと住んでいた人々を何といいますか。
- (2) オーストラリアに、何万年も前からきた人々を何といいますか。
- (3) 地図のBの国に、古くからくらししてきた人々を何といいますか。
- (4) (3)の人々のことばは、1987年に何の1つになりましたか。
- (5) (2)の人々の聖地とされている、オーストラリアの内陸にある大きな一枚岩を何といいますか。

確認問題② 歴史・農牧業と鉱業・貿易

4 オセアニア州の歴史について、次の問いに答えなさい。【5ページ】

- (1) 1788年、囚人などを乗せた船団がシドニーに着き、オーストラリアを植民地にした国はどこですか。 _____
- (2) 植民地になったあと、先住民はどうなりましたか。正しいものを選びなさい。
ア 土地が広がり、人口がふえた イ 土地をうばわれ、人口が大きく減った ウ 国の政治をまかされた _____
- (3) (1)の国の植民地だったオーストラリアとニュージーランドで、多く話されていることばと、多く信仰されている宗教の組み合わせを選びなさい。
ア 英語・キリスト教 イ スペイン語・キリスト教 ウ 英語・イスラム教 _____
- (4) 1901年から1970年代まで、ヨーロッパ系以外の人々（とくにアジアの人々）の移民を制限した政策を何とといいますか。 _____
- (5) 次のア～エを、古い順に並べなさい。
ア (4)の政策をやめた イ 6つの植民地がまとまり、オーストラリア連邦ができた ウ 金が見つかり、世界中から人々が集まった
エ 船団がシドニーに着き、(1)の国の植民地になった _____
- (6) オーストラリアの国旗の左上には、何がえがられていますか。正しいものを選びなさい。
ア アメリカ合衆国の国旗 イ 中国の国旗 ウ (1)の国の国旗 _____

5 オーストラリアの農牧業と鉱業について、次の問いに答えなさい。【6・7ページ】



(1)～(5) 地図のア～オは、それぞれ次のどれにあたりますか。1つずつ選んで書きなさい。

羊の放牧 小麦 酪農 さとうきび 肉牛の放牧

(1) ア _____

(2) イ _____

(3) ウ _____

(4) エ _____

(5) オ _____

◆ ア ■ イ ★ ウ ▨ エ ⊕ オ

地図：Natural Earth

- (6) (1)の作物が、内陸ではなく南東部や南西部などでつくられるわけを、「雨」の語を使って書きなさい。
- (7) オーストラリアの北西部の陸地で多く産出し、日本では製鉄所で鉄をつくる原料になる鉱産資源は何ですか。 _____
- (8) オーストラリアの東部で多く産出する鉱産資源は何ですか。 _____
- (9) 地下にトンネルを掘らず、地面を直接けずって階段のように掘り下げていく方法を何とといいますか。 _____
- (10) 日本が(8)を輸入する先のうち、約3分の2をしめる国を選びなさい。
ア オーストラリア イ インドネシア ウ カナダ _____
- (11) ニュージーランドの最大の輸出品を選びなさい。
ア 小麦 イ 米 ウ 乳製品 _____
- (12) 天然ガスを冷やして液体にした物を何とといいますか。 _____

6 オーストラリアの貿易について、次の問いに答えなさい。【8ページ】

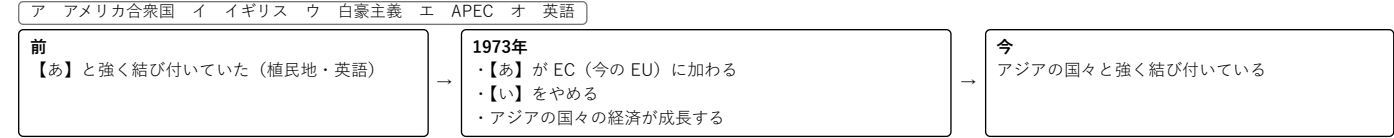
- (1) 1960年ごろ、オーストラリアのいちばんの貿易相手国はどこでしたか。 _____
- (2) 今、オーストラリアの貿易の中心となっているのは、どの地域の国々ですか。
ア ヨーロッパの国々 イ アジアの国々 ウ アフリカの国々 _____
- (3) (1)の国が1973年に加わった、今のEUの前身の組織を、アルファベット2文字で書きなさい。 _____
- (4) オーストラリアの輸出品は、前と今で何が中心に変わりましたか。正しいものを選びなさい。
ア 前＝鉱産資源、今＝農産物 イ 前＝工業製品、今＝農産物 ウ 前＝農産物、今＝鉱産資源 _____
- (5) 1989年、オーストラリアのよびかけで始まった、アジアと太平洋の国と地域が経済で協力するための会議を、アルファベット4文字で書きなさい。 _____
- (6) 貿易の相手が(1)の国からアジアの国々が変わった理由の1つを、アジアの国々で起きたことにふれて、「経済」の語を使って書きなさい。
- _____
- _____

確認問題③ 社会と人・島国の課題とまとめ

- 7 オーストラリアの社会と人の結び付きについて、次の問いに答えなさい。【9・10ページ】
- (1) ヨーロッパ系以外の人々の移民を制限していた政策をやめたのは、何年ですか。
ア 1973年 イ 1901年 ウ 1788年 エ 2008年 _____
- (2) さまざまな民族の人々が、たがいの文化を認め合い、ともにくらす社会を何といいますか。 _____
- (3) (2)を目指す取り組みの例として、正しいものを選びなさい。
ア アジアの国々からの移民を禁止した イ ほかの民族の文化を教えることを禁止した ウ 多くのことばで放送する公共放送がつくられた _____
- (4) 次のア〜ウを、古い順に並べなさい。
ア 首相が、昔の政策で家族から引き離された先住民の人々に、正式に謝罪した イ ウルルの土地が先住民に返された ウ 聖地のウルルに登ることが禁止された _____
- (5) 若者が、相手の国で働きながら、長く旅行や勉強ができる制度を何といいますか。 _____
- (6) オーストラリアから、冬の北海道や長野ヘスキーに来る人が多いわけとして、正しいものを選びなさい。
ア 日本の冬のほうが飛行機代が安いと決まっているから イ オーストラリアには雪が降る山がまったくないから _____
- ウ 季節が日本と逆で、日本の冬はオーストラリアの夏休みの時期にあたるから _____
- (7) 日本とオーストラリアのシドニーの時差について、正しいものを選びなさい。
ア 1〜2時間ほどで、小さい イ 時差はまったくない ウ 半日ほどで、大きい _____
- (8) 白豪主義のころ、オーストラリアへの移民は、おもにどの国々の人でしたか。
ア ヨーロッパの国々 イ アジアの国々 ウ アフリカの国々 _____
- (9) オーストラリアへの留学生は、どの国々からが多いですか。
ア 南アメリカの国々 イ 中国・インドなどアジアの国々 ウ アフリカの国々 _____
- (10) オーストラリアから日本への旅行者は、2019年から2024年にかけて、どうなりましたか。
ア 約62万人から約92万人にふえた イ 約92万人から約62万人にへった ウ 約62万人のまま変わらなかった _____

- 8 島国の課題とまとめについて、次の問いに答えなさい。【11・12ページ】
- (1) 地球温暖化で、海の水がふえ、海面が高くなることを何といいますか。 _____
- (2) 1(3)の国で、国土が水につかるおそれがある原因として正しいものを、次のア〜エからすべて選びなさい。
ア 地球温暖化がかかっている イ 火山の噴火が1年中続いている ウ 首都のある島に人が集まり、開発が進んだことなどもかかっているといわれる _____
- エ ごみや生活排水で海がよごれ、島の砂をつくるサンゴなどが育ちににくいこともかかっているといわれる _____
- (3) 島の砂をつくる、からをもつ小さな生き物を何といいますか。 _____
- (4) 1(3)の国への国をこえた協力として、正しいものを選びなさい。
ア オーストラリアは、協定により、その国の人が移り住むことをすべて禁止した イ 国をこえた協力は、まったく行われていない _____
- ウ 日本は、浜を守る協力や、島の砂をつくる生き物をふやす研究をしてきた _____
- (5) 1(3)の国で、国土が水につかるおそれがあるわけを、島の土地の高さと、地球温暖化にふれて書きなさい。

(6)(7) 次の図は、オーストラリアの結び付きの変化をまとめたものです。【あ】【い】に入る語を、下から1つずつ選んで書きなさい。



- (6) 【あ】 _____ (7) 【い】 _____
- (8) 1(3)の国の面積は、およそどれくらいですか。正しいものを選びなさい。
ア 約2600km² イ 約26km² ウ 約26万km² _____
- (9) 地球温暖化をおさえるために、地球規模で減らすことが求められている気体を何といいますか。 _____
- (10) 1(3)の国の人口は、およそ何人ですか。 _____
- (11) 2025年から、オーストラリアは、1年に最大何人の1(3)の国の人が移り住めるようにしましたか。 _____

覚えることの一覧（何も見ずに書けるか、紙でかくして確かめよう）

国と自然（1・2ページ）

オーストラリア（首都はキャンベラ。面積は日本の約20倍）／ニュージーランド（南東の2つの島）／バプアニューギニア（ニューギニア島の東半分）／フィジー・ツバル（太平洋の島国）。オーストラリア大陸は六大陸でいちばん小さく、大部分が乾燥帯の「乾燥大陸」。太平洋の島々は、火山の島とサンゴ礁の島。3つの地域＝ミクロネシア・メラネシア・ポリネシア。

気候の並びと人口（3ページ）

地域	気候
北部	熱帯（雨季と乾季）
内陸	乾燥帯（砂漠・ステップ）
南東部	温帯（1年を通して雨）
南西部・南部の一部	温帯の地中海性気候（夏に乾燥、冬に雨）
ニュージーランド	温帯の西岸海洋性気候
太平洋の島々の多く	熱帯

人口は、南東部・南西部の海ぞいの都市に集まる（約3分の2が州都）。南半球なので12～2月が夏、6～8月が冬（日本と逆）。

先住民と歴史（4・5ページ）

アボリジニ（オーストラリア。約4%。聖地ウルル）／マオリ（ニュージーランド。約17%。マオリ語は1987年に公用語の1つ）。1788年 イギリスの植民地に → 1850年代 金 → 1901年 オーストラリア連邦・白豪主義（ヨーロッパ系以外の人々の移民を制限） → 1973年 白豪主義をやめる。英語・キリスト教・国旗の左上にイギリスの国旗。

農牧業（6ページ）

農牧業	多い地域
羊の放牧	南東部・南西部など
肉牛の放牧	北部・東部など
小麦	南東部・南西部など
さとうきび	北東部の海ぞい
酪農	南東部など

雨がとても少ない内陸は、ほとんど使われない。ニュージーランドは羊と酪農（乳製品が最大の輸出品）。日本の牛肉の輸入先は、半分近くがオーストラリア。

貿易（8ページ）

輸出品＝前は羊毛・小麦などの農産物 → 今は鉄鉱石・石炭・液化天然ガスなどの鉱産資源。貿易相手＝1960年ごろはイギリス → 今は中国・日本・韓国などアジア。理由＝イギリスの EC 加盟（1973年）・アジアの経済成長・アジアに近い・白豪主義をやめた。APEC（アジア太平洋経済協力）＝1989年、オーストラリアのよびかけ。

多文化社会と人の結び付き（9・10ページ）

多文化社会＝さまざまな民族の人々が、たがいの文化を認め合い、ともにくらす社会（多文化主義。1970年代から）。先住民の権利＝1985年 ウルル返還 → 1990年代 土地の権利 → 2008年 謝罪 → 2019年 ウルルの登山禁止。アジアからの移民・留学生・観光客が増加。季節は逆・時差は小さい。ワーキングホリデー（1980年、日本の最初の相手国はオーストラリア）。

ツバル（11ページ）

サンゴ礁の9つの島・いちばん高い所で約4.6m。海面の上昇（地球温暖化）に、開発・海のよごれなどがからみ合っているといわれる。日本は有孔虫の研究と浜を守る協力、オーストラリアは協定で移り住める人を受け入れる。

合言葉

「オーストラリアの首都はキャンベラ」／「大陸は乾燥、島は火山とサンゴ礁」／「内陸は乾燥、人は海ぞいに住む」／「オーストラリアはアボリジニ、ニュージーランドはマオリ」／「イギリスの植民地 → 白豪主義」／「雨のある所で、羊・牛・小麦」／「鉄鉱石は北西、石炭は東」／「前はイギリス、今はアジア」／「白豪主義から、多文化社会へ」／「季節は逆、時差は小さい」／「原因は1つではない」

鉱業（7ページ）

鉱産資源	場所
鉄鉱石	北西部（産出量は世界一）
石炭	東部
天然ガス	北西部の沖

露天掘り＝地面を直接けずって階段のように掘り下げる方法。液化天然ガス（LNG）＝天然ガスを冷やして液体にした物。日本の輸入は、石炭の約3分の2、鉄鉱石の約半分、液化天然ガスの約4割がオーストラリア。

確認問題の答えと解説

1【1・2・11ページ】

(1) パプアニューギニア (2) ニュージーランド

Aはニューギニア島の東半分の国で赤道の近く。Bはオーストラリア大陸の南東にある2つの大きな島の国。【1】

(3) ツバル (4) キャンベラ

Cはサンゴ礁の低い島々の国で、国土が水につかるおそれがある。首都はキャンベラ（シドニーではない）。【1・11】

(5) 乾燥大陸 (6) サンゴ礁

大部分が雨の少ない乾燥帯なので乾燥大陸とよばれる。サンゴなどの骨やからが積み重なってできた地形がサンゴ礁。【2】

(7) イ (8) ウ

火山の島には山がある（低く平らなのはサンゴ礁の島）。メラネシアはニューギニア島からフィジーのあたり。【2】

2【3ページ】

(1) Y (2) Z (3) X

Yはどの月も気温が24℃以上で、6～8月の降水量はどの月も1mm未満。Zは6～8月の降水量がどの月も120mm以上、12～2月はどの月も20mm未満。Xは降水量がどの月も38～69mmで、いちばん暑い月が16.8℃。【3】

(4) R (5) P (6) Q

Xは南東の島国の都市（R）、Yは北部の熱帯の都市（P）、Zは南西部の都市（Q）。【3】

(7) 熱帯 (8) 地中海性気候 (9) 西岸海洋性気候

北部は熱帯。南西部は夏に乾燥し冬に雨が多い地中海性気候。ニュージーランドは西岸海洋性気候。【3】

(10) ア

南半球なので12～2月が夏（日本と逆）。【3】

(11) (例) 雨が多く、過ごしやすい気候だから。

内陸は乾燥帯で雨がとても少ない。入れる語：「雨が多い」「過ごしやすい」。【3】

3【4ページ】

(1) 先住民 (2) アボリジニ

先住民はもともと住んでいた人々。オーストラリアの先住民がアボリジニ。【4】

(3) マオリ (4) 公用語

Bはニュージーランド。マオリ語は1987年に公用語の1つになった。【4】

(5) ウルル

アボリジニの聖地で、内陸にある大きな一枚岩。【4】

4【5ページ】

(1) イギリス (2) イ

1788年、イギリスの船団がシドニーに着いた。先住民は土地をうばわれ、人口が大きく減った。【5】

(3) ア (4) 白豪主義

イギリスの植民地だったので英語が話され、キリスト教の人が多い。白豪主義は1901年から1970年代まで。【5】

(5) エーウ→イーア

エ（1788年）→ウ（1850年代）→イー（1901年）→ア（1973年）の順。【5】

(6) ウ

イギリスの植民地だったので、今もオーストラリアとニュージーランドの国旗の左上に、イギリスの国旗がえがかれている。英語・キリスト教と同じく、植民地だったあとに残ったもの。【5】

5【6・7ページ】

(1) 小麦 (2) 肉牛の放牧 (3) さとうきび (4) 羊の放牧 (5) 酪農

小麦＝南東部・南西部、肉牛＝北部・東部など、さとうきび＝北東部の海ぞい、羊＝南東部・南西部など（ニュージーランドも）、酪農＝南東部とニュージーランド。【6】

(6) (例) 内陸は雨がとても少ないが、南東部や南西部などは雨が少しあるから。

内陸の雨がとても少ない所は、ほとんど使われない。入れる語：「雨」。【3・6】

(7) 鉄鉱石 (8) 石炭

鉄鉱石は北西部、石炭は東部。【7】

(9) 露天掘り (10) ア

地面を直接けずって掘り下げる方法。日本の石炭の約3分の2はオーストラリアから。【7】

(11) ウ (12) 液化天然ガス（LNG）

ニュージーランドは羊の放牧と酪農がさかんで、乳製品が最大の輸出品。天然ガスを冷やして液体にした物が液化天然ガスで、船で運ぶ。【6・7】

6【8ページ】

(1) イギリス (2) イ

1960年ごろはイギリスが中心。今は中国・日本・韓国などアジアの国々が中心。【8】

(3) EC (4) ウ

イギリスは1973年に EC (今の EU) に加わった。前は羊毛や小麦などの農産物、今は鉱産資源が中心。【8】

(5) APEC

1989年、オーストラリアのよびかけで始まった。【8】

(6) (例) アジアの国々の経済が成長し、鉱産資源や食料をたくさん必要とするようになったから。

入れる語：「経済」(成長)。アジアの国々の経済が成長し、資源や食料が必要になったことにふれていれば正解。【8】

7【9・10ページ】

(1) ア (2) 多文化社会

白豪主義は1973年にやめた。さまざまな民族の人々が文化を認め合う社会が多文化社会。【9】

(3) ウ (4) イ→アーウ

1978年に多くのことばで放送する公共放送。ウルル返還(1985年)→謝罪(2008年)→登山禁止(2019年)の順。【9】

(5) ワーキングホリデー (6) ウ (7) ア

日本の最初の相手国はオーストラリア(1980年)。季節が逆で、日本の冬は夏休みの時期。経度が近いので時差は小さい。【10】

(8) ア (9) イ (10) ア

白豪主義のころの移民はヨーロッパの国々の人が中心。留学生は中国・インドなどアジアからが多い。旅行者は2019年の約62万人から2024年の約92万人にふえた。【9・10】

8【11・12ページ】

(1) 海面の上昇 (2) ア・ウ・エ

地球温暖化による海面の上昇に、開発や海のよごれもからみ合っているといわれる。火山の噴火ではない。【11】

(3) 有孔虫 (4) ウ

日本は島の砂をつくる有孔虫をふやす研究や、砂利で浜を守る協力をしてきた。【11】

(5) (例) サンゴ礁でできた島で、高い所でも約4.6mと低く、地球温暖化による海面の上昇で水につかるおそれがあるから。

入れる語：「低い(高さ)」「地球温暖化」「海面の上昇」。【11】

(6) イ (7) ウ

前はイギリスと強く結び付いていた。1973年にイギリスが EC に加わり、白豪主義をやめた。【8・12】

(8) イ (9) 温室効果ガス

ツバルの面積は約26km²(とても小さい島国)。地球規模では、温室効果ガスを減らすことが求められている。【11】

(10) 約1万人 (11) 280人

人口は約1万人。2023年の協定で、2025年から1年に最大280人がオーストラリアに移り住めるようになった。【11】